

令和7年度 特別助成金 贈呈先団体および事業内容等

公益財団法人吉田学術教育振興会

	項 目	内 容
1	助成金贈呈先団体	大川市立道海島小学校
	代表者	校長 塚本 正典
	助成事業の名称	学校、家庭、地域が連携して地域への愛着を深める児童の育成を図る教育活動 ～地域の伝統をつなぐコミュニティスクールの推進を通して～
	活動及び 助成事業内容	道海太鼓の伝統を受け継ぎ、地域への愛着を深める児童の育成及び道海太鼓演奏による伝統の継承と地域の活性化を図るため、次の諸活動を行う。 具体的には、地域と連携を図った学校行事や総合的な学習において、道海太鼓の歴史や地域の方の願いを学びながら継続的な練習と演奏を披露する。 道海太鼓の継承として、年間を通して、大川市や道海島小学校区の社会施設での道海太鼓演奏の披露を行う。 7月19日：夏祭りでの子ども神輿と道海太鼓の演奏の披露 7月26日：校区の高齢者施設「永寿園」での演奏 8月31日：大川市青少年育成大会での道海太鼓の演奏 9月15日：長寿会祝賀会での道海太鼓の演奏 10月26日：木の香園祭りでの道海太鼓の演奏 11月1日：地域の方へ、運動会での道海太鼓の演奏 3月14日：卒業式での保護者及び地域の方への道海太鼓の披露 今回の事業「太鼓演奏の披露」では、高学年に太鼓演奏の自信、中学年に、5, 6年生のように、すばらしい演奏ができるようになりたいというあこがれや希望をもたせたい。そのためには、大川市や様々な地域の方に演奏披露の場を通して、道海太鼓を広げたいという強い願いをもたせ、練習や太鼓披露を意欲的・継続的に取り組ませたい。
	助成金額	30万円
2	助成金贈呈先団体	若菜地域食堂実行委員会
	代表者	代表 梶原 康子
	助成事業の名称	若菜地域食堂
	活動及び 助成事業内容	地域食堂が多世代交流会の場をなり、また青少年の健全育成につながり、安心安全な地域社会になることを目的とした事業(行事や活動)を行う。 - 地域食堂の開催・食事の提供 ・2か月に1回、奇数月の第2土曜日に実施する。 - 地域住民へ交流の場の提供 ・遊び(折り紙、昔遊び…お手玉・けん玉など、手作りゲーム等)を行う。 ・地域活動への参加意識が希薄化している子どもや高齢者へ参加を促し、多世代の交流を促進する。 ・様々な世代の人にボランティアを募る。 - 声をかけ合える関係づくり ・地域食堂に参加し、顔見知りが増えることで、多世代での挨拶、声かけ、励まし等へと発展し、相談相手が増える。 - 子どもへの本の読み聞かせ ・読み聞かせの取組みにより、子ども達が積極的に本を手にするきっかけになってくれればと願っている。 - 実行委員会の定期的な開催を ・偶数月に、前回の反省会や次回開催に向けた打ち合わせを行う。 今回の事業「地域食堂の活動」を通して、誰もが気兼ねなく参加できる食堂を継続して開催していくことで、地域に根ざした活動を目指す。また、世代間交流が活発になることで、地域のつながりが深まり、遊びや学習支援などが自然と行われる雰囲気居場所を目指した活動を展開する。
	助成金額	30万円